

豊かな運動経験を実現する学校向け運動プログラムの開発とその効果の検証

背景

将来のスポーツライフの実現において、子どもに「楽しさ」と「多様な運動」による豊かな運動経験が重要となる。また、このような運動は、体力・運動能力の向上のみならず、健康の維持増進、認知的能力の開発、情動・社会的スキルの向上など「全人的成長」の促進に寄与する。これらのことから、豊かな運動経験に資する学校向けの運動プログラムや指導方法、また地域における子どもの豊かな運動経験の支援体制の構築は重要となっている。

研究成果（予定）

- ① 現職教員向けの授業改善のための楽しさと多様な運動経験を核とした運動プログラムの資料
- ② 保護者向けの運動・スポーツ推進のための資料
- ③ 学校・教育委員会向けの施策検討資料
- ④ 本学紀要での臨床的研究の成果公表

研究目的

豊かな運動経験を実現する学校向けの運動プログラムを開発し、このプログラムを子どもに提供できる学校の人材育成を目指す。加えて、この運動プログラムによって子どもの運動機会の創出を支援する地域の支援体制についても検討する。

研究課題

- ① 「楽しさ」と「多様な運動」を中核においた子ども向け運動プログラムの開発し、この運動プログラムの効果を検証する。
- ② 子どもの運動機会の充実における地域の支援活動の実践および効果検証を行う。
- ③ 子どもの体力・運動能力の向上と、子どもの運動習慣・生活習慣などの関連性を科学的に解明する。

研究計画

<初年度>

- ① 学校向け運動プログラムの開発と予備調査の実施
- ② 地域の支援体制に関する調査の実施
- ③ 子どもの運動習慣・生活習慣等の予備調査の実施

<次年度以降>

- ① 運動プログラムの実証研究の実施
- ② 地域の支援体制の分析、及び支援活動の実施と効果検証
- ③ 子どもの運動習慣・生活習慣等の本調査の実施
- ④ 学校・地域が一体となった子どもの運動機会充実のための体制検討

研究実施体制

■代表

奥田知靖 教授（岩見沢校）

■分担者

志手典之 教授（岩見沢校）

山本理人 教授（岩見沢校）

森田憲輝 教授（岩見沢校）

安部久貴 准教授（岩見沢校）

小倉晃布 准教授（岩見沢校）

小林育斗 准教授（岩見沢校）